

木上山奥海印寺寂照院は粟生の南十町余にあり、宗旨は真言にして、仏殿の本尊は千手観音を安置す、弘法大師の作なり。二王門の金剛力士は運慶の作なりとぞ。開基は道雄僧都、又当寺の山上に人破岩と号する所あり、妙見菩薩善材童子とあらはれ、法華経を僧都にさづけし靈嘯なり。又本尊観世音は椎の木の上へに出現し給へり、此ゆゑに木上山といふ。道雄僧都の俗姓は佐伯氏にして、華嚴を学び後に空海に従ふて真言の密教を授る、嘉祥三年に権少僧都となる。〔当寺伝記の意をとる〕

妙見のやしろは西の山林にあり、此里の氏神とす、祭は九月廿一日なり。